



令和3年度 協同のあゆみと取り組み



令和3年度の事業報告の詳細につきましては、当組合のホームページ「ディスクロージャー」または、各支所に備え置きしております「第22回通常総代会議案書」よりご確認ください。

経営概況

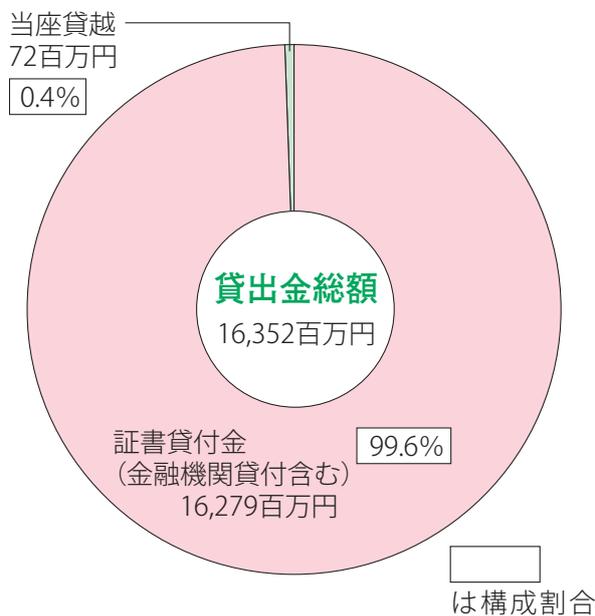
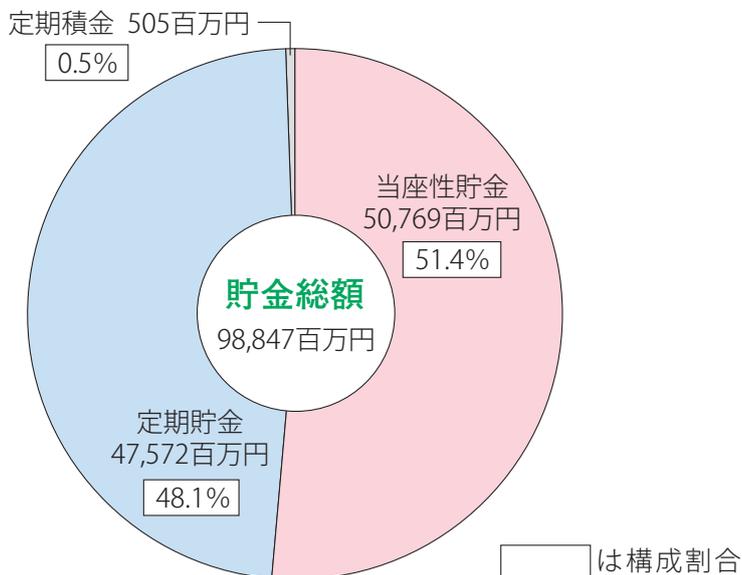
令和3年度組合の事業実績

①貯金（貯金総額）

本年度計画	98,758 百万円
達成率	100.1%
前年対比	100.5%



年金友の会総会



②貸出金（貸出金総額）

本年度計画	16,625 百万円
達成率	98.4%
前年対比	108.1%



説明をする職員



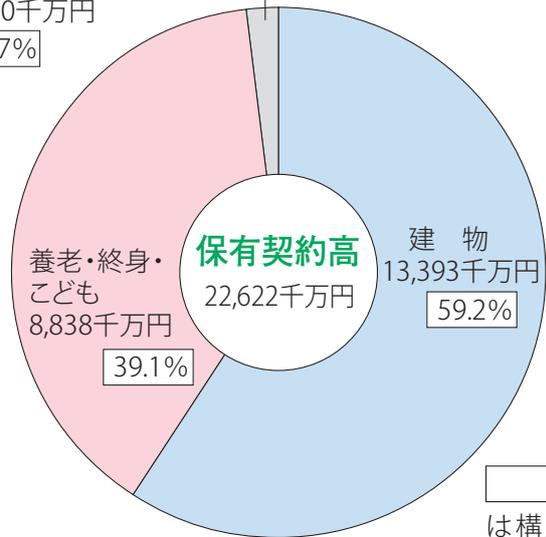
③ 共済事業 (保有契約高)

本年度計画	22,801 千万円
達成率	99.2%
前年対比	96.1%



「JA共済の月」推進進発式

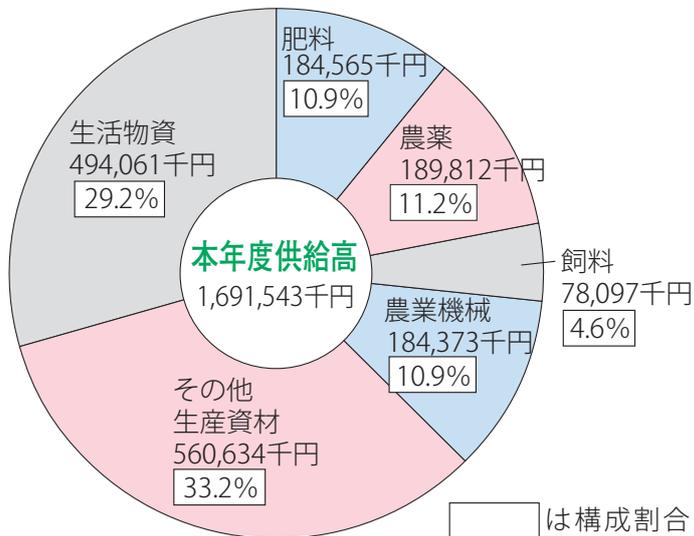
定期・がん・医療
定医・介護・生障・特重
390千万円
1.7%



は構成割合

④ 購買事業 (供給高)

本年度計画	1,725,255 千円
達成率	98.0%
前年対比	100.6%



は構成割合



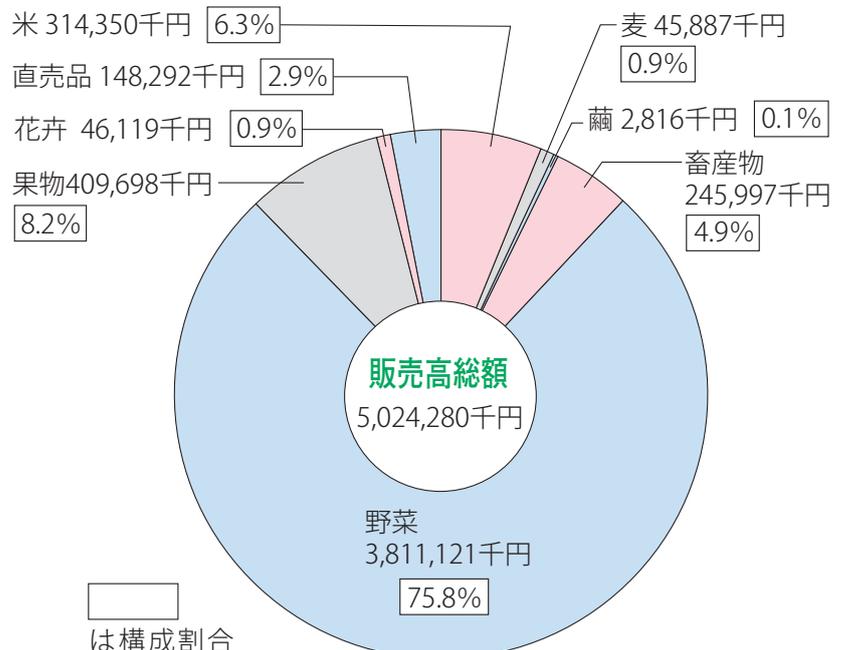
講習会での農機具の説明

⑤ 販売事業 (販売高)

本年度計画	5,427,583 千円
達成率	92.6%
前年対比	88.6%



情報交換会 (ハウレン草部会・葉菜部会)



は構成割合

財務・事業成績の推移

(単位：千円、%)

区分	項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
財務	事業利益	160,061	68,899	24,671	66,680	
	経常利益	225,685	181,296	132,860	178,153	
	当期剰余金	120,159	117,902	97,100	87,523	
	総資産	101,747,090	101,481,520	105,698,727	106,376,756	
	純資産	5,209,678	5,252,205	5,318,665	5,362,521	
	単体自己資本比率	14.51	12.97	12.92	13.09	
信用事業	貯金	94,663,468	94,212,192	98,376,338	98,847,130	
	預金	78,992,784	79,039,014	82,042,927	80,806,488	
	貸出金	13,146,992	13,764,282	15,132,936	16,352,163	
	有価証券	国債	2,035,862	173,678	169,948	947,529
		その他	1,932,882	71,468	68,548	846,949
	その他	102,980	102,210	101,400	100,580	
共済事業	長期共済保有高	252,423,867	244,937,574	235,462,753	226,227,369	
	短期共済新契約掛金	512,507	509,895	503,258	493,032	
購買事業	購買品供給・取扱高	1,509,316	1,687,561	1,680,861	1,691,543	
販売事業	販売品販売・取扱高	5,122,864	4,736,978	5,671,018	5,024,280	

令和3年度も前年に引き続き新型コロナウイルスにおける環境変化に追われた1年となり、従来の事業戦略がままならなかった葬祭等事業も見受けられましたが既存事業の戦略の見直しを繰り返し行い、効率化を図ってまいりました。

この結果、令和3年度は
 事業利益 約66百万円
 経常利益 約178百万円
 当期剰余金 約87百万円
 を計上することができました。



第22回通常総代会



准組員懇談会

ここに組合員の皆さまのご協力に対しまして、改めて深く感謝申し上げますと共に、今後もなお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

令和4年度 重点取り組み事項

【自己改革の取り組み】(P6に内容記載)

- ① 農業者の所得増大・農業生産の拡大に向けた取り組み
販売品取扱い高の拡大
- ② 地域の活性化に向けた取り組み
- ③ 経営基盤の確立・強化に向けた取り組み
- ④ 対話・意思反映の取り組み
- ⑤ 農業資金の供給

【第7次中期3か年計画】(P7に内容記載)

- ① 持続可能な食料農業基盤の確立
- ② 持続可能な地域・組織・事業基盤の確立
- ③ 不断の自己改革の実践を支える経営基盤の強化

【施設・事業の再編整備計画】

- ① 支所実施サービスの見直し
支所の店舗サービスについて段階的見直しの実施。本年については融資業務の機能集約が主な項目。
- ② 生活事業の再編整備葬祭事業
ホール建設可否の結論、他業者との連携の具体的検討を進める。
- ③ 農業関連事業
座談会や一斉訪問、部会や各種講習会・巡回等により組合員の意見を聴き、必要とされる事業展開を実施すべく事業の転化を進める。
- ④ 組合資産の有効活用と見直し
鳥之郷支所の業務機能を本所へ移管。半遊休資産である沖之郷町土地・建物の処分。

自己改革・中期3か年計画報告書

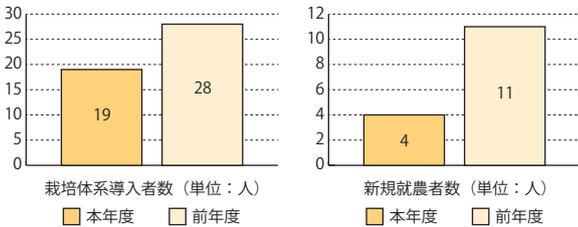
令和3年度 自己改革進捗状況、第6次中期3か年計画結果報告 ①農業

戦略区分	農業
ビジョン	なくてはならないJAへ
経営課題	魅力ある農業の提案
重要成功要因	農業者の販売高向上

中期改革目標	目標値
①青果物販売高の増加	令和3年度 45.6億円 未達
②米出荷量の増加 (カントリー荷受重量)	達成 2,638トン (令和3年度までに)
③小麦の出荷量維持 (Aランク・1等の維持)	達成 1,323トン (令和3年度までに)

中期改革目標特記事項(追加項目)

①の重点8品目を設定し、重点8品目の更なる生産拡大・出荷量増加・単価アップを図る



中期改革目標(目標値)に対する進捗状況

目標	品目/項目	目標値	結果	対比
青果物販売高の増加	ほうれん草	23.1億円	20.2億円	87.4%
	小松菜	3.6億円	2.7億円	75.0%
	ねぎ	2.7億円	2.1億円	77.8%
	小玉西瓜	3.3億円	3.5億円	106.1%
	なす	3.4億円	4.3億円	126.5%
	枝豆	1.2億円	1.4億円	116.7%
	モロヘイヤ	0.7億円	0.7億円	100.0%
	ブロッコリー	0.4億円	0.4億円	100.0%
青果物販売高合計		45.6億円	42.2億円	92.5%
米出荷量の増加 品質向上	カントリー(荷受重量)	2,638t	2,895t	109.7%
	個体	510t	437t	85.7%
小麦の出荷量維持 Aランク・1等の維持	出荷量	1,323	1,443	109.0%
	Aランク・1等	1等 Aランク	1等 Aランク	

「ほうれん草」等の葉物野菜については、前年の秋冬から続く単価の軟調推移に加え、出荷最盛期である11月～12月でのべと病被害(約22ha)が大きく影響し、販売品取扱高については当年度計画を約3億円下回る結果となりました。

出荷量は前年並みで推移したのに対し、単価安に起因し、販売高は前年比93%で推移しています



新規就農に関する相談者は9名、うち4名が令和3年度に就農。令和4年度からの就農に向けて提案や相談を実施中

令和3年度 自己改革進捗状況、第6次中期3か年計画結果報告 ②組合員・地域

戦略区分	組合員・地域
ビジョン	なくてはならないJAへ
経営課題	総合事業の発揮
重要成功要因	部門間連携

中期改革目標	目標値
組合員加入の増加	毎年度 300人 未達

加入の増減状況……正組合員/▲130 准組合員/180

中期改革目標特記事項(追加項目)

各事業の利用者に対して「JA太田市の応援団」に位置付ける准組合員として加入を促進し、複数事業の利用に繋げる。また、正組合員メリット創出による脱退防止を図る。

中期改革目標(目標値)に対する進捗状況

目標	目標値	結果	目標対比
組合員加入の増加	300人	180人	60.0%

自己改革進捗状況、第6次中期3か年計画結果報告 ③JA経営・職員

戦略区分	JA経営・職員
ビジョン	なくてはならないJAへ
経営課題	組合員と地域に信頼される安定した経営基盤の確立
重要成功要因	①事業組織の再編、効率化 ②役職員の意識改革と行動改革

自己資本比率……総資産のうち、自己資本が占める割合で、財務状況を示す指標となります

中期改革目標	目標値
労働生産性の確保	8,500千円 未達
自己資本比率の維持	達成 11%以上

中期改革目標(目標値)に対する進捗状況

目標	目標値	結果	目標対比
労働生産性の確保	8,500千円	8,381千円	98.6%
自己資本比率の維持	11%以上	13.09%	119.0%



旬イチ開催(やよいひめ販売)



正組合員全戸訪問



階層別(監督者)研修会



地区座談会の開催

第6次中期3か年計画結果報告3か年の推移（令和元年度～令和3年度）

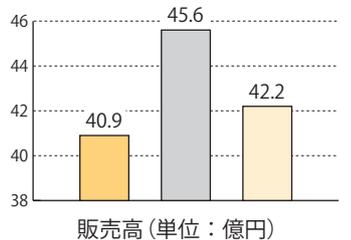
青果物重点品目販売高

品目／項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
ほうれん草	21.4億円	22.6億円	20.2億円
小松菜	3.7億円	3.8億円	2.7億円
ねぎ	2.4億円	3.0億円	2.1億円
小玉西瓜	3.3億円	3.5億円	3.5億円
なす	2.53億円	3.6億円	4.3億円
枝豆	1.21億円	1.5億円	1.4億円
モロヘイヤ	0.72億円	0.7億円	0.7億円
ブロッコリー	0.41億円	0.3億円	0.4億円
青果物販売高合計	40.9億円	45.6億円	42.2億円



① 農業

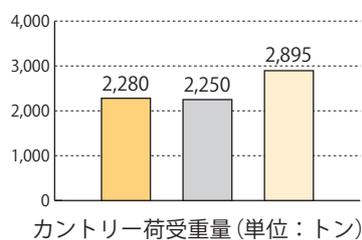
青果物販売高



令和元年度 令和2年度 令和3年度

① 農業

米出荷量の増加



令和元年度 令和2年度 令和3年度

① 農業

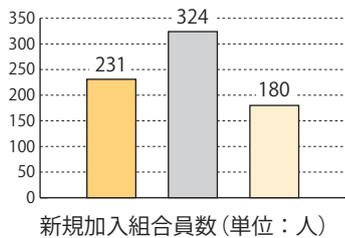
小麦の出荷量維持



令和元年度 令和2年度 令和3年度

② 組合員・地域

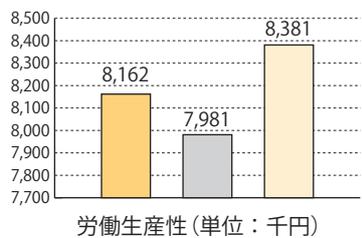
組合員加入の増加



令和元年度 令和2年度 令和3年度

③ JA経営・職員

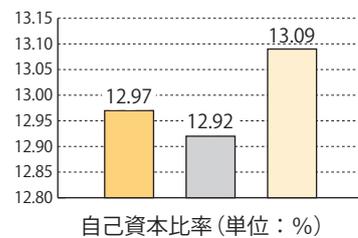
労働生産性の確保



令和元年度 令和2年度 令和3年度

③ JA経営・職員

自己資本比率の維持



令和元年度 令和2年度 令和3年度



露地なす支柱立て講習会



ほうれん草品種説明会

自己改革の取り組みについて（令和4年度～令和6年度）

JA太田市自己改革の取り組み方針について

JA太田市は、令和元年より、組合員との徹底した対話に基づいて、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標とする創造的自己改革の実践に全力で取り組んできました。

これまでに自己改革として、栽培体系列の提案に取り組んだほか、重点品目を中心とした量販店への直接販売による販売強化、補助事業の活用によるハウス増設等の取り組みをすすめてきました。

この結果、令和元年に実施した「JAの自己改革に関する組合員調査」等において、多くの正組合員から、一定の評価と自己改革への一層の期待、多くの准組合員から、総合事業の必要性や地域農業を応援したいとの声をいただくことができました。

今後とも、JA太田市は、地域になくってはならないJAであり続けるため、自己改革の実践を支える持続可能な経営基盤の確立・強化とともに、組合員との徹底した対話を通じ、総合事業を基本として「不断の自己改革」に取り組んで参ります。

自己改革を実践するための具体的な方針【下線項目はKPI設定】 ※KPI…目標を達成するために日々の活動で行う具体的な行動指標。

- 1 訪問活動や座談会を通じた「担い手との対話」を原点としてニーズを的確に把握します。
- 2 「農業者の売上増加・コスト低減」につながる担い手目線で必要な取り組みについて、目標及び実践具体策の策定等と併せて実践し、改革の目的である「所得増大」を実現するほか、「地域の活性化」にも取り組みます。
- ・中核的担い手や多様な担い手等を対象として、次のことに取り組めます。
 - 農業経営支援の実施 生産部会機能強化による多面的な有利販売の実施
 - 直売所・直売品の出荷品目の充実
- ・必要とする全ての農業者を対象として、次のことに取り組めます。
 - 肥料大口取引値引きによる生産コストの低減
- ・「地域の活性化」に向けては、次のことに取り組めます。
 - 農業振興の応援団の拡大
- 3 改革の取り組みと成果について対話等を通じて評価を把握し、次の改革につなげることで、PDCAサイクルを回し、不断の自己改革を着実に実践します。

自己改革の実践に向けた組合員の意思反映

自己改革の実践にあたっては、改革の評価の把握に向けた正組合員との対話のみならず、更に地域に根ざしたJAを目指して、准組合員についても総代会や地区座談会へ出席いただき、意見の聴き取りにより「正組合員とともに、地域農業や地域経済の発展を支える組合員」である准組合員の声も聴くことで、正組合員と准組合員が一体となったJA運営を実現します。実践事項についても組合員の評価を踏まえながら必要な見直しを行います。

また、農業振興の応援団でもある准組合員の事業利用にあたっては、正・准組合員の利用状況を把握したうえで、改革の目的である「農業者の所得増大」につながるよう取り組みます。

自己改革を支える経営基盤の確立・強化の取り組みについて

管内の人口動向は概ね横ばいで推移しておりますが、農業者の少子高齢化は進展しております。農業経営体は5年前と比較すると全体として約23%減少していますが、法人経営は約25%増加しております。また、JA太田市の販売品販売高は、49億円前後で推移している状況です。

こうした情勢のなか、JA太田市として5年後の成行きについてシミュレーションを行ったところ、5年後には現状と比べて事業利益が減少するものの一定水準の利益を確保できる見通しとなりました。これまで行ってきた自己改革および経営基盤強化を通じた事業改革の成果が着実に表れてきていると見ることもできますが、一方で事業総利益の減少を事業管理費の削減で補っている収支構造自体に変わりはなく、事業管理費の削減が限界を迎える中で、5年後以降を見通し、収支改善に取り組んでいく必要があります。

販売力の強化を通じた事業伸長や効率的な施設運営、機能・要員集約を通じた費用削減により、健全で持続性のある経営を確保することが緊急の課題となっています。

JA太田市自己改革工程表案（数値編）

農業者の所得増大・農業生産の拡大				地域の活性化に向けた実施事項				
実施事業		目標とする指標	目標値			令和4年度	令和5年度	令和6年度
対象者	効果(想定)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標	目標	目標
肥料大口取引値引きによる生産コストの低減		大口取引による予約肥料取扱袋数	9,000袋	9,500袋	10,000袋	目標とする指標：新規加入組合員数		
全ての農業者	30袋以上 50円引き 100袋以上 80円引き					令和6年度	250人	250人
農業経営支援の実施		補助事業活用による面積・販売高増加	200a	270a	340a	経営基盤の確立・強化に向けた実施要項		
中核的担い手	販売高向上 180万円/10a		3,600万円	4,860万円	6,120万円	支所次期営業店システム等の導入		目標
生産部会の機能強化による多面的な有利販売の実施		加工用契約販売・直送販売直接販売の出荷量	166t	169t	172t	令和6年度	次期営業店システム導入等による要員効率化	7支所
多様な担い手	出荷経費削減 24円/1kg					内部留保積立の実施(経営基盤強化積立金)		目標
直売所・直売品出荷品目の充実		直売品目数増加による販売高の増加	10品目	10品目	10品目	令和6年度	3年間で累計1億円の積立実施	3千万円
多様な担い手	15万円/1品目 増加		150万円	150万円	150万円	令和6年度		
【県域共通目標】						令和6年度		
県域共通目標	目標とする指標	目標値			令和4年度	令和5年度	令和6年度	
販売品取扱高の拡大	販売品取扱高	49.2億円	50.1億円	50.6億円				

対話・意志反映			
実施事項	令和3年度計画	令和3年度実績	令和4年度計画
正組合員への訪問・対話（のべ人数）	5,624人	5,447人	15,416人
地区座談会の開催（回数・のべ参加者数）	18回 156人	9回 94人	18回 250人
准組合員の総代会参加（人数）	45人	0人	45人
准組合員の地区座談会参加（のべ人数）	90人	0人	90人

第7次中期3か年計画について（令和4年度～令和6年度）

第7次中期3か年計画の策定については「第42回JA群馬県大会議案」をもとに、今後様々な環境変化に対応し、当組合が引き続き「なくてはならないJA」として組合員、地域に認知いただけるよう、大きく3つに分けて計画を策定。JA太田市の目指す10年後に向けて実践して参ります。
進捗状況につきましては、自己改革工程表と併せて、地区座談会や広報誌で報告させていただきます。

持続可能な食料・農業基盤の確立

「持続可能な農業生産の実現と販売力強化による“農業者の販売高向上”」

令和6年度までに達成する 目標達成指標（KGI）	①青果物販売高	44.3 億円
	②補助事業等活用による生産拡大推進（施設増加面積）	累計 3.4ha
	③米荷受量の増加	カンントリー荷受量 3,000t
取り組み事項	<ul style="list-style-type: none"> 多様な農業者による地域農業の振興 地域の実態に応じた持続可能な農業の振興と確立 マーケットインにもとづく販売強化 	

市場・実需者のニーズにこたえ、安全・安心な農畜産物を安定供給できる持続可能な地域農業を確立し“農業者の販売高向上”を支援します。

主な実施事項

- 補助事業を活用した規模拡大
- 病害虫や市場価格動向等の速やかな情報発信
- 特別値引商品を設けた生産コストの低減
- 主食用米の品種導入試験の実施
- 直売所の直売品の増加

持続可能な地域・組織・事業基盤の確立

「組合員の拡大と連携強化による地域活性化を目指し“JA 総合事業機能の発揮”」

令和6年度までに達成する 目標達成指標（KGI）	組合員加入の増加	毎年度 250 人
取り組み事項	<ul style="list-style-type: none"> 組合員の拡大と「メンバーシップ」の確立 総合事業機能の発揮 連携強化による地域活性化 	

“食と農、地域とJA”をしっかりと結んだ総合事業の発揮により経営基盤の確立を行います。

主な実施事項

- 農業体験の実施
- 直売所ポイントカード新規加入者の増加
- ニューパートナー（共済新規加入者）数の増加
- 信用、共済合同相談会の実施
- ライフサポートの実践

不断の自己改革の実践を支える経営基盤の強化

「持続可能な組織基盤の確立・強化と協同組合らしい人づくりによる“組合員と地域に信頼される安定した経営基盤の確立”」

令和6年度までに達成する 目標達成指標（KGI）	労働生産性の確保	8,500 千円
	自己資本比率の維持	12%以上
	事業利益の確保	20,000 千円
取り組み事項	<ul style="list-style-type: none"> 経営の健全性確保と内部統制の確立 持続可能な経営基盤の確立・強化 協同組合らしい人づくり 	

地域の農業や生活環境の変化など直面する“組合員・地域の声”をJA経営に反映する事で信頼される安定した経営基盤の確立を行います。

主な実施事項

- 経営状況のリスク分析、評価、開示
- 内部統制の確立強化
- 事業計画の精緻化、履行
- 組合員学習活動の機会提供
- JA 職員階層別研修会の実施
- JA 職場風土の醸成